

■ 施工手順



1. 下地状態の確認

- ① 下地のシートに浮き、剥がれがある場合は、「プラゾール瞬間」等で補修する。シートに欠損部は「アースタック」で平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。
- ② 下地のシートにワックスが塗布されている場合は、ワックス用剥離剤で除去し、乾燥する。油分などの汚れがある場合は、洗剤などで除去し、乾燥させる。

2. 床材の張り付け

・直張り工法

- ① ウレタン系接着剤「プラゾールUF」または「プラゾールUF-1」を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
- ② 床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
- ③ 床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用などを避け、換気をよくして養生する。

・全面下地処理工法

- ① 「リフォームシール」を床材面が見えなくなる様（厚さ0.3mm程度）ローラー等で塗布し、下地全面を平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。
- ② 床材、施工環境、使用状況などを加味して適合する接着剤を選定する。
- ③ 接着剤を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
- ④ 床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
- ⑤ 床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用などを避け、換気をよくして養生する。

※備考

- (1) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2) ビニル床シートなどを施工する場合は、施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。タイル系の床材は、反りなどが生じないように、平滑な場所で保管してください。
- (3) 冬季低温時（5℃以下）の施工は、ジェットヒーターで採暖を取るなどして施工を行ってください。
- (4) 乾燥モルタル下地などと比べ全く吸い込みがないため、接着剤塗布後のオープンタイムや養生期間は、長めにとるようにしてください。
- (5) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや突き上がり、反りが発生し易いのでご注意ください。
- (6) 床材張り付け後、床材に適した継ぎ目処理などを行ってください。

■ 使用商品（施工㎡数）

● プラゾール瞬間



| 商品番号 | 荷姿 |
|---------|-------------|
| 714-001 | 20g×10(×10) |

● アースタック



| 商品番号 | 荷姿 | 施工㎡数の目安 |
|---------|---------|------------------|
| 293-701 | 5kg(×4) | 5㎡/5kg (1mm厚) |

● プラゾールUF-1



| 商品番号 | 荷姿 | 施工㎡数の目安 |
|---------|------|----------|
| 286-302 | 16kg | 43㎡/16kg |

F☆☆☆☆

● リフォームシール



| 商品番号 | 荷姿 | 施工㎡数の目安 |
|---------|-----------|------------|
| 293-901 | 3.6kg(×4) | 約10㎡/3.6kg |

■ 注意事項

- ① 床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で本施工を行ってください。
- ② 「プラゾールUF」、「プラゾールUF-1」等溶剤系製品を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ③ 下地の床材より重ね張りする床材が、硬質で脆い床材の場合には、施工できません。
- ④ 下地の床シートに浮きや剥がれ等がある場合、床シートが張られている下地の強度不足、湿気の影響、下地が動いているなど、下地そのものが原因の場合もありますのでご注意ください。
- ⑤ 「リフォームシール」は、高い剛性を持った床用パテですが、極端に下地が動いた場合や大きな衝撃が加わった場合、パテが割れることがありますのでご注意ください。
- ⑥ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。